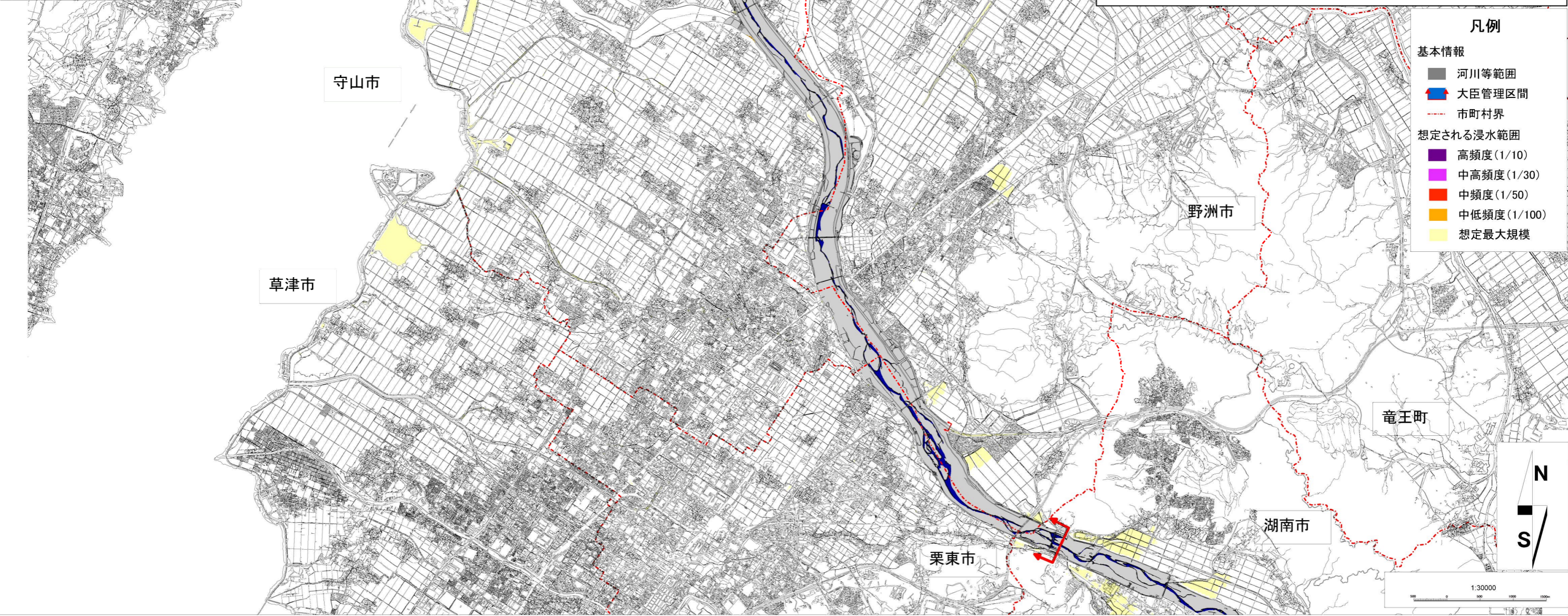


# 淀川水系野洲川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ 【現況河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の  
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文
    - (1)この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
    - (2)この水害リスクマップは、現況の淀川水系野洲川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%))の降雨に伴う洪水により野洲川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより算出したものです。
    - (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和28年9月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
    - (4)想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和元年10月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
  2. 基本事項等
    - (1)公表年月日 令和4年12月13日
    - (2)作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局  
・琵琶湖河川事務所 淀川水系野洲川
    - (3)実施区間  
【琵琶湖河川事務所】  
・淀川水系野洲川  
左岸: 湖南市石部北4丁目2193番地先から琵琶湖への流入点まで  
右岸: 湖南市菩提寺字平尾2111番9地先から琵琶湖への流入点まで
    - (4)算出の前提となる降雨  
・年超過確率1/10(野洲川流域の1日間の総雨量214mm)  
・年超過確率1/30(野洲川流域の1日間の総雨量271mm)  
・年超過確率1/50(野洲川流域の1日間の総雨量297mm)  
・年超過確率1/100(野洲川流域の1日間の総雨量350mm)
    - (5)河道条件: 現況
    - (6)関係市町村 近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市
    - (7)その他計算条件等
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



### 凡例

**基本情報**

- 河川等範囲
- 大臣管理区間
- 市町村界

**想定される浸水範囲**

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模